

平成16年度小豆生育状況 (7月15日現在)

平成16年7月15日 各支庁発表

小豆生育状況

支庁	区分		本年	平年差	評価	生育期節	遅速日数	摘要
十勝	草丈	cm	14.7	148%	長い		早5日	7月上旬は割合晴れる日が多かったが5日以降、低気圧や前線の影響から曇りと雨の日が続いた。特に9日には管内全域で40～60mmの大雨となった。気温は平年+0.5、日照時間は平年並降水量は156%と多かった。生育は順調
	葉数	枚	5.4	127%	多い			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	-	-	-			
	主茎節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
空知	草丈	cm	15	+2.7	長い		早2日	概ね生育は平年並。低気圧や気圧の谷により、悪天が多かった。気温は-0.9と低く推移し、降水量は9日に纏った雨が降り平年を上回り、これらにより日照時間は平年を下回った。今後は気温、降水量は平年を上回り、日照時間は下回る予想。
	葉数	枚	5.4	+0.5	多い			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	-	-	-			
	主茎節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
網走	草丈	cm	13.5	143%	長い		早6日	上旬は、低気圧や気圧の谷の影響で曇りと雨の日が続いた。オホーツ海の冷たい空気が入り、気温は平年に比べ2.6～0.8低く経過。降水量は、多く、日照時間は46%～70%と少ない。この後13日以降は好天が続いた。
	葉数	枚	5.0	128%	多い			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	-	-	-			
	主茎節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
上川	草丈	cm	14.6	136%	長い		早3日	平均気温は全体を通じて平年低かった。降水量は前半と中盤は多く、後半は少なかった。日照時間は中盤が特に少なく、全体を通じて平年を下回った。生育は順調である。
	葉数	枚	5.6	119%	多い			
	分枝数	本/m ²	-	-	-			
	着莢数	本/m ²	-	-	-			
	主茎節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			

気象概況(十勝)

帯広観測所 ()は平年比

6月下旬	平均気温	降水量	日照時間
	18.0 (2.3)	44.0mm(156.0%)	45.9時間(102.0%)
評価	高い	多い	平年並

7月上旬	平均気温	降水量	日照時間
	17.3 (0.5)	49.0mm(150.8%)	44.5時間(110.1%)
評価	高い	多い	平年並

1日から4日にかけては高気圧に覆われ、晴れる日が多かったものの、5日以降は低気圧や前線の影響により一変して曇りや雨が続き、中でも、9日は管内全域で40mm～60mmの大雨となり、帯広では41mmの降雨を記録した。この期間の平均気温は、17.3と平年に比べ0.5高く推移し、日照時間は平年並であったものの、降水量は156%と多かった。中旬に入っても曇りの日が続き、平年比-0.3に終わる。その後、晴れて15日には1週間ぶりの夏日となった。

総評

全道

7月上旬から中旬に掛けて曇天で低温の日が若干多く経過したものの、6月中の好天が貯金となり全道で豆類の作柄は引続き、順調に推移している。

十勝

生育は引続き順調。大正金時、手亡は開花期を迎え、小豆は一部において開花始めとなる。また大豆は草丈が大きく、豆類全般の生育は順調。

上川地区

オホーツク海高気圧の影響でやや低温気味に推移するも、生育は順調。赤豌豆は播種期の低温が響き、生育状況は停滞気味でその作柄は平年より悪い。

北見

7月第一週目に低温と曇天に見舞われ、生育は若干停滞するも、生育は引続き順調。青豌豆及び、高級菜豆も概ね順調に推移している。

函館

若干、降雨量が多かったが、生育は引続き順調。函黒、鶴の子大豆、大納言ともに旬中に推移。